

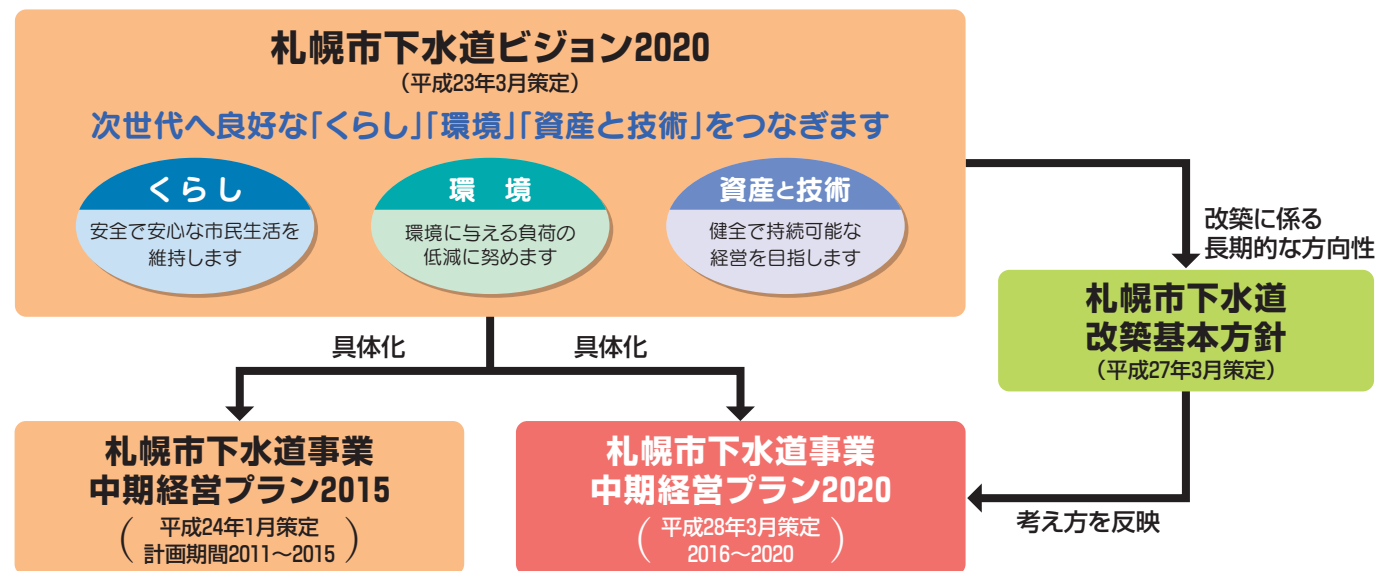
下水道事業を取り巻く様々な環境の変化に対応し、効率的に事業を進め、次世代に良好な生活環境や都市施設を引き継ぐために、10年間(平成23年度(2011年度)から平成32年度(2020年度)まで)の施策の方向性を示す「札幌市下水道ビジョン2020」を平成23年(2011年)3月に策定しています。

また、このビジョン実現のための5年間の具体的な行動計画である「札幌市下水道事業中期経営プラン2020」を平成28年(2016年)3月に策定しました。

このプランは、「札幌市下水道改築基本方針」の考え方などを反映させて、今後5年間の事業計画と財政計画を定めたものです。

札幌市では昭和40～50年代に集中的に整備された施設が多くあり、老朽化が進んでいることから、維持管理による延命化を図りながら、計画的な改築を進めることとしています。

加えて、近年の局所的な豪雨や地震などの災害への対応について、ハード対策・ソフト対策の両面から進めることとしています。



## 札幌市下水道事業中期経営プラン2020 [平成28年度～平成32年度]

**体系**

**【事業計画】安全で安心な市民生活の維持**

- 下水道施設の維持管理
- 下水道施設の再構築
- 下水道施設の災害対策(雨水対策・地震対策)

**【事業計画】環境に与える負荷の低減**

- 下水道整備と水質改善
- 下水道エネルギー・資源の有効利用

**【財政計画】健全で持続可能な経営**

- 財務体質の強化
- 組織力の向上

●「情報提供」による市民理解の促進  
●「市民参加」によるニーズの把握

**取組方針**

- 維持管理・改築を計画的かつ効率的に進める
- ハード・ソフトの両面で都市基盤の強靱化
- 清らかな水環境を保全  
下水道エネルギーや資源の有効利用
- 経営の効率化を図り、経営基盤の強化に努め、将来の下水道の担い手を育成

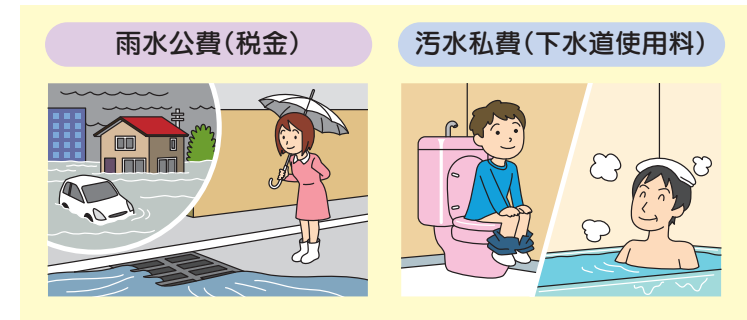
詳細についてはホームページをご覧ください。

札幌市下水道ビジョン 2020  
札幌市下水道事業中期経営プラン 2020 <http://www.city.sapporo.jp/gesui/keieiplan/keieiplan2020.html>

下水道事業では、収支状況が明らかになるように、一般会計から独立した「下水道事業会計」を設けています。その内容は、施設の維持管理などにかかる収入と支出(収益的収支)と施設の建設・再構築などにかかる収入と支出(資本的収支)とに分かれています。

## 雨水公費・汚水私費の原則

下水道が担う重要な役割として、浸水から都市を守る「雨水排除」と、生活排水を処理する「汚水処理」があります。このうち「雨水排除」は税金(一般会計繰入金)で、「汚水処理」は皆さまからいただいている下水道使用料でまかなうこととしています。これを、「雨水公費・汚水私費の原則」といいます。



## 収益的収支と資本的収支

**収益的収支**  
収益的収支は、施設の維持管理などにかかる収入と支出です。

- 収益的収入  
主に下水道使用料及び一般会計繰入金で構成されています。
- 収益的支出  
管路の調査や修繕及び処理施設の運転や修繕などの維持管理に要する費用(維持管理費)と、減価償却費や企業債支払利息(資本費)で構成されています。

**資本的収支**  
資本的収支は、施設の建設・再構築などに要する支出とその財源です。

- 資本的収入  
主に国庫交付金及び企業債で構成されています。
- 資本的支出  
管路や処理施設の建設・再構築などにかかる費用(建設事業費)と、施設の整備のために借り入れた企業債の元金償還金で構成されています。

## 平成30年度予算

